

第45回福島県障がい者総合体育大会 陸上競技、フライングディスク競技で活躍

障がい者の社会参加を目的とした体育大会が、5月20日にいわき市陸上競技場を中心に開催されました。

今年度は、小野町身体障害者福祉会から4名が陸上競技に、こまち共同作業所から6名がフライングディスク競技に参加し、競技者や、応援者の介助のために一般の方2名、小野高校生4名がボランティアとして同行しました。



▼陸上競技

(いわき市陸上競技場)

今年度は、4名の方が競技に参加し、4名ともメダルを獲得しました。

●参加者(敬称略)

大竹 康三(立ち幅跳び)
遠藤 智一(車いす1000M走)
久下 千代意(砲丸投げ)
田村 勇(1000M走)



▼フライングディスク競技

(21世紀の森公園)

今回の大会が、作業所の立上げから初めての参加でした。五月晴れの下、時より強い風も吹いていましたが、楽しんでいました。競技の結果、6人中4人がメダル(組毎に順位を決定)を獲得しました。

●参加者(敬称略)

荒井 崇史 吉田 学
村上 友美 山口 貴矢
佐藤 美鈴 渡辺 義信

参加種目 アキユラシー5

※アキユラシー5とは、フライングディスクを使った種目です。どれだけ正確にディスクを投げられるかを競い、5M離れたラインから直径0・915Mの円形で地上から0・61Mにあるゴールを通します。



競技会場が2箇所だったために、ボランティアも2箇所に分かれてのお手伝いでしたが、昼食の準備やトイレへの誘導など積極的に活動いただきました。そしてなによりも参加された方々の年代を超えた交流ができたようでした。

ボランティアとして参加していただきました皆様には紙上をお借りして御礼申し上げます。



「道路愛護会」 各地区で花の苗植栽

6月24日、こまちみどり愛護会(阿部君江会長)のメンバーを中心に町内外から約50名の方々に参加いただき、小野町を訪れた方々が心やすまるようにとあぐま高原道路小野インター周辺の霧島つっじの剪定、除草作業に併せマリーゴールド、サルビア各500本を一本一本真心こめて植えました。

この日以外にも各愛護会で、道路わきの花壇にマリーゴールドなどの植え付け作業が実施されました。

これからも、道路周辺の美化活動にご協力下さいますようお願いいたします。



熱心に作業する参加者のみなさん